

(参考様式第2号)

旧尾西市地域において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成30年8月28日

一宮市長 中野正康



記

1. 会合の対象とした区域

旧尾西市地域

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成30年8月23日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	4経営体
個人	20経営体
集落営農（任意組織）	1組織

○ 農地の集積面積

4. 今後の地域農業の在り方

- ・水稲については、今後も売れる米づくりに取り組み、農地の利用集積化により経営の効率化を図っていく。
- ・野菜については、JA愛知西白菜部会員を中心に位置づけられており、今後も研修の共同開催・低コスト化等の取り組みを続けていく。
- ・尾西水稲採種組合では、現在行われている共同圃場巡回を継続し、低コスト化及び高品質化を一層進め、安定した品質及び収量を供給したい。
- ・畜産業においては、高付加価値化で生産量以上の価値を高めていく。
- ・また、農地利用集積に関して、水稲栽培は経営の効率化に繋がる効果が高いため積極的に進めていく。その他、野菜や花き栽培などの大規模な経営面積を要さない作目においても、借り換えを念頭に置いた利用集積を行う。

- ・今後高齢化が見込まれるため、世代交代や新規就農者の確保を行い、後継者を当地域で育成していく。
- ・中心となる経営体以外の農業者については、利用集積円滑化団体や農地中間管理機構の支援を受け、中心となる経営体へ農地の集積を行っていく。